

江ノ島

2026年8月28日～29日 | 神奈川県藤沢市・鎌倉市



台湾から来た親戚と過ごした、8月の終わりの二日間。29日は江の島を巡り、海沿いを歩いて鎌倉へ向かいました。橋の先の緑、参道の店先、江ノ電の走る海辺。ひとつずつ足を止めながら、湘南の景色とおいしいものを楽しむ旅です。

江ノ島駅から、島への道



江ノ電の江ノ島駅には、三角屋根と緑の駅名看板。駅前の通りを抜けて海へ向かうと、橋の向こうに島が見えてきます。江ノ電の「江ノ島駅」と小田急の「片瀬江ノ島駅」は別の駅。この日の入口は、江ノ電の江ノ島駅でした。[3] 海へ近づくにつれて、町歩きが島への散策に変わっていきます。

仲見世を抜けて、朱の鳥居へ



朱の鳥居と石段

仲見世の店先

島に入ると、細い参道の両側に店が並びます。赤いひさし、木の看板、店先の品々。その先には朱色の鳥居と石段が待っていました。海を渡ってきたばかりなのに、ここではもう門前町の景色です。つい店先を見ながら歩きたくなる、江の島らしい入口でした。[1]

朱色の社殿と、ひらける海



木々に囲まれた江島神社の中津宮は、朱色の社殿と緑が鮮やかな対照を見せていました。[2] 島の道を上がると、屋根や枝の間から港も見えてきます。手前には濃い緑、その向こうには船の並ぶ水面。さっき渡った橋の高さから少し上がるだけで、海の見え方が変わります。

大きなたこせんべいで、ひと休み



大きな一枚

海の風を感じる、
名物のたこせん。

薄い生地に、
たこの姿

ぱりっと薄い生地に、
たこの旨みがそのまま。
見た目にも楽しい一枚です。

散策の途中で出会ったのは、紙袋から大きくはみ出すたこせんべい。薄い一枚の中に、赤みを帯びたたこの形が見えます。写真を見返しても、まず目を引くのはその大きさ。食事とはまた違う、旅先のおやつの楽しさです。パラソルのある席でひと休みして、島歩きの続きを楽しみました。

島の緑と、岩肌の海辺

夏の名残、
緑の崖と静かな海

雲の多い空の下、
深い緑に覆われた崖が
海へと続いている。
穏やかな海は、
どこまでも広がり、
夏の終わりの静けさが
漂っていた。

旅



濃い緑



岩肌



海の広がり

店の並ぶ道から少し視線を外すと、緑に覆われた崖と灰色の岩肌、その下に海が広がっていました。海辺の島らしさが、ふっと近くなる眺めです。参道、社殿、見晴らし、岩の海岸。島をぐるっと巡る間に、いくつかの表情に出会いました。歩いて回るからこそ、こんな景色の切り替わりも楽しめます。

江の島から、海沿いを歩く



島を振り返る

広い砂浜の向こうに
江の島の島影。
夏の終わりの海は、
やさしい青灰に包まれて。

どこまでもつながる
水平線。
雲の多い日も、
この海はやさしい。

夏の浜辺に、
潮の気配。

海沿いを鎌倉へ

波の音を横に、
海と線路が寄り添って続く。
どこまでも続くこの道の先に、
鎌倉のまち。

海風が運ぶ、
どこか懐かしいまちへ。

島を出たあとは、海を眺めながら鎌倉高校前の方へ。片瀬の浜辺では、砂浜の向こうに江の島が見えました。さっきまで歩いていた島を、今度は少し離れた場所から眺めます。車窓で流れていく海岸も、歩けば景色の変わり目がよく分かります。途中で食事を挟みながら進む、海辺の散歩になりました。

海鮮料理が、旅のごちそう



海沿いの散策の途中でいただいた海鮮料理は、今回とくにおいしかったもののひとつ。器には彩りよく盛られた刺身としらす、えび。別の皿には魚の煮付けがあり、小鉢も並んでいました。海を眺めて歩いたあとに、海の幸を味わう。その組み合わせがうれしく、食卓の写真を見返すだけでも旅の楽しさがよみがえります。

江ノ電が走る、海辺の日常



家並み



線路



道路



海

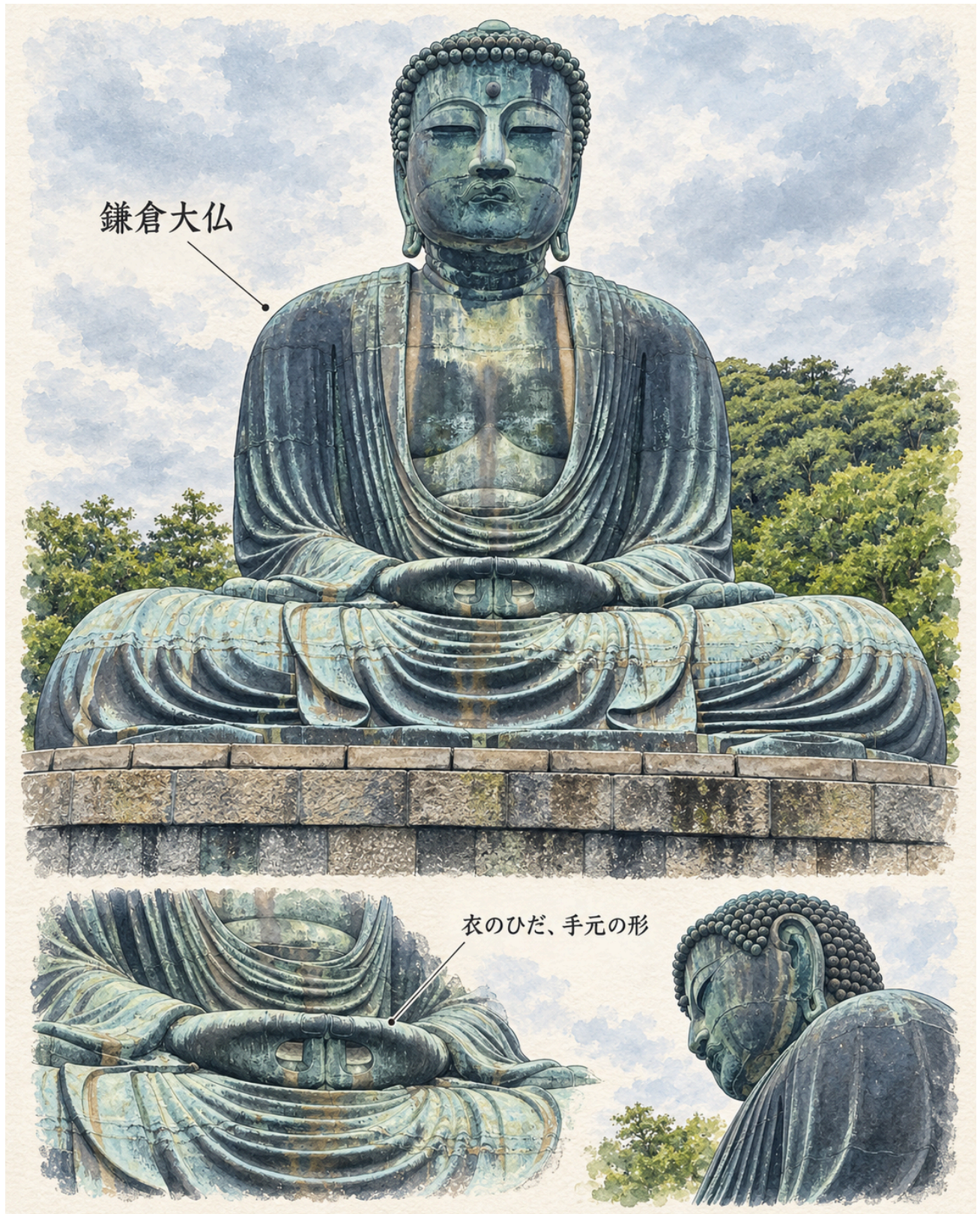
食事の前後には、海沿いに行く江ノ電の姿も。緑とクリーム色の車体が、家並みと海の間を通っていきます。道路、線路、建物、そして海。それぞれが近い距離に収まる景色に、江ノ電らしさを感じました。乗る楽しさに加えて、沿道から電車を眺める楽しさもある。歩いたからこそ残った一場面です。

鎌倉高校前、駅の向こうに海



歩いて着いた鎌倉高校前駅では、ホームのすぐ向こうに海が見えます。[3] 江の島を巡ってきた道のりに、ひとつ区切りがつく場所でした。ここからは江ノ電の車内へ。窓の向こうには、海沿いの道路や踏切が続きます。足でたどった景色を、今度は車窓から眺める。歩く時間と乗る時間の両方を味わえました。

鎌倉大仏を、見上げる



鎌倉では高德院へ。木々を背に座る大仏は、正面から見る姿も、横から見上げる姿も印象に残りました。鎌倉大仏は、高德院の本尊である銅造阿弥陀如来坐像です。[4] 大きな像に目を向けたあと、衣のひだや手元の形を見ると、また違う表情が見えてきます。海辺の散策とは違う、鎌倉でのひとときでした。

海と電車と、おいしい記憶



江の島の緑、参道の朱色、海鮮料理の彩り、江ノ電の緑とクリーム色、そして鎌倉大仏。二日間の思い出には、いくつかの色が残りました。なかでも、江の島から鎌倉高校前まで歩いた時間は、旅をゆっくり味わうひとときに。台湾からの来訪をきっかけに、一緒に眺めた景色がまたひとつ増えました。

[1] 藤沢市観光公式「江の島」

[2] 藤沢市観光公式「江島神社 中津宮」

[3] 江ノ島電鉄「路線図・駅情報」

[4] 高德院 公式サイト